

アンケートまとめ

支部研修会（言語聴覚士 三好まみ先生 講話・演習）

H30. 11. 18（日）

高松医療センター

感想

- ・低下して食事摂取困難になってきている患者の状態を知ることができた。
- ・嚥下面の基礎的な部分が復習できた。
- ・咀嚼、飲み込みは、人体の複雑な機能が正常に働いているからこそできていることを改めて認識した。
- ・口から食べることの大切さが実感できた。
- ・ALSの方の食事を摂ることの大変さを教えていただいた。

実技・体験、映像等から

- ・わかりやすく、よく理解できた。
- ・舌の動きは重要だと感じた。
- ・実際に使っているもので体験でき、患者の気持ちがよくわかった。
- ・動画を使っただけの説明がわかりやすかった。

今後・・・

- ・嚥下体操、アイスマッサージを取り入れ、少しでも改善できれば。
- ・言葉を発する時の舌の動き、舌を使わないと食べづらいことが分かった。口腔体操をするときに、一緒に伝えたい。
- ・実際に使える体操があつてよかった。
- ・機能低下の方や障害となっている方の治療の足がかりになる。
- ・他の嚥下機能低下の方にも応用できる。家族の方にも教えてあげたい。
- ・ALS患者ではないが、嚥下体操や舌のストレッチを試してみたい。
- ・「これからも在宅生活を。」という患者の強い思いを大切に支援していきたい。
- ・自分や身近な人の機能が衰えた時、学んだことをヒントに努力したい。
- ・「最後と思わず次の対策があるので、一緒に考えよう。」という心強い言葉が大変嬉しい。
- ・家庭で継続しての実践は難しい。通院時等に専門家の方について実施したり、状態を判断したりしながら実践できるようになればよい。

開催してほしい研修会等

- リハビリについて
 - ・リハビリの実際等の指導
 - ・呼吸器の面でのリハビリの研修
- ADL訓練について
 - ・ADL訓練の実際（内容、自助具の選択等）
 - ・日常生活動作における工夫（食事・排泄・入浴、補助具を含めて）
- コミュニケーションについて
 - ・コミュニケーションツール等の紹介
 - ・支援に必要なコミュニケーションスキルに関する研修
 - ・文字盤によるコミュニケーションの取り方（演習を含む）

○サポート等について

- ・ALS患者が使える障害福祉サービスや社会保障制度（経験者の体験談等）
- ・家族の精神的サポートについて
- ・見取期に関する援助の仕方（在宅のケアマネとして、家族への病状説明の仕方、医師との連携）

○その他

- ・障害認定等の初期症状患者向けの研修会
- ・個々に不安をもっている人がいるので、いろんな研修を
- ・難病患者について、継続して勉強会を

要 望

- ・案内を早めに
- ・西讃地域での開催